

一般質問

相馬市長の市政に
対する基本方針に
ついて



高瀬 重嗣 議員



空き家対策につい
て



内藤 幹夫 議員



質問…市税の安定確保のため取り組んでいる政策を伺います。

答弁…令和4年度現年分の徴収率は99.6%です。新たな取組として固定資産税の償却資産申告漏れ事業者等の調査を開始しました。

質問…市独自の収入であるふるさと納税の考え方について伺います。

答弁…農産品が中心でしたが、

レンズや美白美容液なども返礼品に加えました。王将戦のコーポ商品は寄附金控除のピークが12月。折角の1月のスタートなのですぐに取り組みました。

質問…学校給食の補助は子供の未来を考えた投資に当たらないか伺います。

答弁…補助することによって住み続けたいということになれば、効果があると考えます。

質問…自民党幹事長が国の制度として学校給食費を無料化にもっていきたいと明言されました。この補助削減はマイナスのメッセージにはならないか伺います。

答弁…十分承知していますが、今後の財政に重きを置いて考えていきます。

質問…空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正を受けて、市の指導に従わず、修繕など具体的な策を示した勧告の段階まで進んだ場合、特例で固定資産税を6分の1に軽減する税優遇を解除できる管理不全空き家の指定について積極的に進めてほしいと考えますが、本市の考えを伺います。

答弁…適正管理がされていない

と思われる空き家は令和5年12月1日現在で、把握している件数は133件です。法改正により管理不全空き家に該当していくことも予想されますが、具体的な国のガイドラインがまだ出ていないため、こういった状態の空き家であればこれに該当するかというところが、まだ不透明な部分もあります。したがって、ガイドラインが示された段

階で、こうした空き家が該当するのかどうか市のほうで検討し、専門家の意見等も聞きながら判断したいと考えています。

質問…活用促進区域について、本市の考えを伺います。

答弁…まちづくりに関する様々な計画と整合を図る必要があることから、今後そういったことも検討し進めていきたいと考えています。